

教科	社会(地理的分野)	学年	第1～2学年
----	-----------	----	--------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界の姿	4	○地球表面のようすを地球儀や世界地図を活用してとらえさせ、地球上の位置の表し方や球面上の位置関係をとらえる技能や知識を身につけさせる。 ○地球儀や世界地図を活用し、世界の地域区分や国々の名称と位置などをもとにして、世界の地域構成をとらえ、おおまかな世界地図をかけるようにする。	・緯度と経度を使って世界の地点を示すことができるとともに、世界のおおまかな略地図をポイントをふまえてかいたり、統計資料を活用したりすることができる。 ・世界の六つの大陸や三つの大洋、六つの州をとらえるとともに、おもな国の名称と位置や緯度と経度のしくみ、さまざまな世界地図の特徴を理解している。	・国名や国旗、国境線の特徴などから、これらはさまざまな地理的事象と密接に関連していることを多面的・多角的に考察することができる。	・小学校での既得の知識や日常生活での経験などと関連させて世界のおもな国をあげるとともに、地図や地球儀に親しみ、さらに世界のおおまかな地域構成について興味・関心をもってとらえようとする。
日本の姿	5	○地球儀や地図を活用し、わが国の国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などを取りあげ、日本の地域構成を大観させる。	・世界の中での日本の位置を示すさまざまな方法や、日本と各地との時差を計算し時刻を求める方法、日本の略地図をかく方法を身につけている。 ・世界の中での日本の位置、日本の領域の広がりとその現状・領土をめぐる問題、日本の地域構成やさまざまな地域区分について理解し、それらの知識を身につけている。	・地球表面上における時差の存在、世界の中での日本の位置や広がり、日本国内のさまざまな地域区分の指標について、多面的・多角的に考察・判断し、その過程や結果を適切に表現することができる。	・世界の中での日本の位置や広がり、日本国内の地域構成や地域区分に関心をもち、地球儀や地図を活用して、それらの事象を意欲的に追究しようとする。
世界各地の人々の生活と環境	8	○世界各地における人々の生活のようすとその変容について、自然および社会的条件と関連づけて考察させ、世界の人々の生活や環境の多様性を理解させる。	・世界各地の人々の生活と環境の多様性に関する資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりすることができる。 ・世界各地の人々の生活と環境の多様性について、自然および社会的条件と関連づけた人々の生活のようすと変容を理解し、その知識を身につけている。	・世界各地の人々の生活と環境の多様性を、自然および社会的条件と関連づけた人々の生活のようすとその変容をもとに、多面的・多角的に考察し、適切に判断することができる。	・世界各地の人々の生活と環境の多様性に対して関心をもち、意欲的に追究しようとしている。
世界の諸地域	30	○世界の諸地域について、各州に暮らす人々の生活のようすを的確に把握できる地理的事象を取りあげ、それをもとにした主題(テーマ)を設定してそれぞれの州の地域的特色を理解させる。	・地球儀、地図帳、映像資料などから地理的事象を読み取り、それらの学習成果を略地図などにまとめる技能を身につけている。 ・各州の大観的な学習を通して、基礎的・基本的な知識を習得し、主題(テーマ)追究学習により、各州の地域的特色を理解して、世界の諸地域についてのイメージを構成できる。	・各州の地域的特色を明確にする主題(テーマ)を追究し、わが国との比較や関連をはかりながら、多面的・多角的な思考や判断を行うことができる。	・中学校第1学年の生徒の生活や関心と結びつく地理的事象を取りあげ、それらを多面的・多角的に調査し考察している。
身近な地域の調査	5	○身近な地域における諸事象を取りあげ、観察や調査などの活動を行い、生徒が生活している土地に対する理解と関心を深めて地域の課題を見いだし、地域社会の形成に参画しその発展に努力しようとする態度を養うとともに、市町村規模の地域の調査を行うさいの視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身につけさせる。	・地図や景観写真、統計資料などを的確に読み取って活用するとともに、調査結果もわかりやすくまとめ、表現することができる。 ・身近な地域の特徴を理解するとともに、調査の視点や方法を身につける。	・身近な地域の地域的特色や課題をとらえるために適切な地理的事象を取りあげ、それらを多面的・多角的に調査し考察している。	・身近な地域の特徴や課題を追究するとともに、課題の解決策を意欲的に考えようとする。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二中学校

日本の地域的特色	14	○世界的視野や日本全体の視野からみた日本の地域的特色を取りあげ、わが国の国土の特色を、自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結びつきの視点から大観させる。	・世界と比べた日本の地域的特色に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択し、その情報から日本の地域的特色について読み取ったり、図表にまとめたりすることができる。 ・世界と比べた日本の地域的特色について、世界的視野や日本全体の視野からみた「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「地域間の結びつき」を理解し、その知識を身につけている。	・世界と比べた日本の地域的特色を、「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「地域間の結びつき」の観点をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・世界的視野からみた日本の地域的特色や、日本全体の視野からみたおおまかな国内の地域差に関心をもち、それらを意欲的に追究し、とらえようとする。
日本の諸地域	36	○日本をいくつかの地域に区分し、それぞれの地域について、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結びつきのいずれかの視点に注目して地域的特色をとらえさせる。	・日本の諸地域の地域的特色に関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりすることができる。 ・日本の諸地域について、七つの視点に注目した考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身につけている。	・日本の諸地域の地域的特色を、七つの視点に注目しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。	・日本の諸地域の地域的特色に対する関心をもち、それを意欲的に追究し、とらえようとする。
地域の在り方	4	○諸地域に暮らす人々の生活のようすを的確に把握できる地理的事象を取りあげ、さまざまな国または地域の地域的特色をとらえる適切なテーマを設けて追究させ、地理的認識を深めさせるとともに、さまざまな国または地域の調査を行うさいの視点や方法を身につけさせる。	・調査対象の国や地域の調査と地域的特色に関する資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 ・調査対象の国や地域の調査について、地域的特色にとともに、世界の国や地域の調査を行うさいの視点や方法を理解し、その知識を身につけている。	・調査対象の国や地域の地域的特色をとらえる適切なテーマを設定して、世界の地域の調査を行うさいの視点や方法をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・調査対象の国や地域の調査とその地域的特色に関心をもち、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。